



2025年度通常総会開催の報告

2025年度通常総会を6月28日（土）にJ A 高知病院で開催しました。

活動会員46名のうち、出席19名と委任状提出12名により総会は成立し、2024年度活動報告・収支決算、2025年度活動計画・収支予算が承認されました。

2024年度は2年ぶりに受け手養成講座を開催し、10期生を迎え開設体制を強化しました。

電話開設は、体制が整わず休止日もありましたが、開設日69日、受信件数1,642件（前年より16日・948件増）でした。秋にはチャイルドラインカードを学校を通じて配布し、チャイルドラインを知ってもらう活動も実施。ホームページやSNSを通じ情報発信にも努めました。2024年度の収支決算は、下のとおりで、収支差額は、通信費や事務費が想定を超え14万8千円余のマイナスでした。

団体財源は会費・寄付金に支えられており、2024年度は合計53万7千円余のご支援をいただきました。深く感謝申し上げます。



2025年度も子どもたちの声を聴く活動を中心に、よりよい活動ができるように実践してまいりますので、ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

第11回 受け手養成講座が始まります！

と き：8/30(土)~10/25(土) 全6日間11回

と ころ：県立ふくし交流プラザ

※詳細はチラシ、ホームページをご覧ください。

<https://childlinekochi.org/>

18歳までの子どもがかける電話

電話でつながる心の居場所



意見交換会

通常総会終了後の意見交換会では、チャイルドラインのミッションである「子どもの声に耳を傾け、思いを受け止めることで、『電話でつながる子どもの居場所』をつくり、受け止めた子どもたちの声や状況を社会に伝えていくこと」が、「子どもの権利条約」に基づいたものであることを共有しました。

また、理事からは電話開設への積極的な参加表明があり、受け手・支え手へのメンタルサポートの充実や活動への相互理解が深まることへの期待が寄せられました。これに対し受け手からは「心強いです」との声がありました。

意見交換を通じて、子どもが安心して話せる場所をつくるためには、楽しく、温かく、互いを認め合いながら活動できる「チャイルドラインこうち」の環境づくりが重要であることを、改めて認識しました。

2025年度は「第11期受け手養成講座」を開催し、子どもの声を聴く活動に、少しでも多くの方が参加できるよう、受け手の増加を目指してまいります。

A 収入合計	614,304円	会費収入	287,000円
		寄付金収入	250,700円
		参加費収入	58,000円
		その他	18,604円
B 支出合計	762,365円	事務所家賃・光熱水費	276,000円
		受け手研修費	40,023円
		カード製作費	61,075円
		封筒製作費	41,800円
		通信費（カード郵送費含）	265,162円
		支援センター会費	20,000円
		県外会議旅費	22,860円
		その他事務費等	35,445円
C 収支差額 (A - B)			△148,061円
D 前年度繰越金			955,188円
E 次年度繰越金 (C + D)			807,127円

チャイルドラインこうち
に寄付がいただけます

みやび
食家 雅

軽子 吟之夢

寄付つきメニュー



パンと雑貨

chimney (ちむにい)

寄付つきクッキー



ご寄付のお礼 (2025年3月~7月)

ご寄付をいただいた皆様をご紹介します。皆様のご理解とご支援に感謝申し上げます。

<企業・団体の皆様>

○雅 6,000円 ○chimney 5,140円

<個人>

匿名二名

◆会員数 (2025年7月末日現在)

活動会員数 44人

支援会員数 30人